



学校だより

第8号

学校教育目標
やさしく かしく たくましく



令和5年11月1日発行
向日市立第4向陽小学校
TEL 933-3388
FAX 933-0444

「競い合う 讃え合う」

廣川 伸一

季節外れのインフルエンザの大流行で、一時は開催があやぶまれた体育大会ですが、10月14日に予定通り実施することができました。3年ぶりに入場制限なしの開催となり、たくさんの保護者やご家族の皆様、日頃お世話になっている地域の方々に児童の一所懸命な姿を見ていただけたのが何よりでした。学校とPTAよりお願いしました、開場前に並ばないこと、観覧場所を譲り合うことなど、ご協力いただきありがとうございました。おかげさまで安全・安心な状況で児童が伸び伸びと競技・演技することができました。感謝申し上げます。一方で、立って観覧するのが困難な来場者への配慮が不十分だったこと、鉄棒側の通路が狭かったことなど反省点もございました。次年度に引き継いで改善していきたいと存じます。

コロナ禍の3年間、競技数を減らし半日で開催してきました。今年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行はしましたが、今年度も同様の開催といたしました。コロナ前の全日開催の体育大会はバラエティ豊かなプログラムで見応えあるものでしたが、その準備と練習にかかる時間と労力が近年膨張し、他の教育課程を圧迫していました。これを機に簡素化し、適正な規模での実施をしてみたいと思います。順位を決めることもやめました。赤・青・黄 三色の縦割りチームで団結し、優勝を目指すことは体育大会の醍醐味でしたので、大人からすると物足りないように感じるかもしれません。しかし、順位を決めない体育大会が4年目となりましたが、児童から順位を決めてほしいという要望は出ていません。その代わりに児童から出てくるのは、自分たちの演技についての達成感、他の学年の演技への賞賛の言葉です。

競うことは大切です。競い合うことで、切磋琢磨し互いに高め合うことができますし、勝ちたいという思いがあるから人は努力します。努力が実り勝利をつかめた時の喜びは何ものにも代えがたいものです。ただ、勝つことが唯一の目的になると、それは「勝利至上主義」という誤った方向に進んでしまいます。私が最近気になっているのは、子どもよりも周囲の大人が勝つことにこだわってしまうことです。柔道の全国小学生学年別大会は、指導者が子どもに減量を強いたり判定への不満を指導者や保護者が審判にぶつけたりするなどの「行き過ぎた勝利至上主義が散見された」ため、昨年度から開催されなくなりました。大人が勝ちに執着するあまり、子どもたちがスポーツから遠ざかってしまうのはとても残念なことです。

子どもたちには、競う楽しさとともに、相手を讃えることや競技を通じて友情を育むことも学んでほしいと思います。一昨年開催されたオリンピック東京大会で感動的な出来事がありました。スケートボード 女子パークの決勝、優勝候補だった岡本碧優選手は、最終ランで一発逆転を賭けた大技に挑戦するも失敗、メダルを逃しました。泣き崩れる岡本選手にライバル選手たちが駆け寄りました。岡本選手を肩に担ぎ上げ健闘をたたえたシーンに涙された方も多いことでしょう。スケートボードでは、よりカッコいい技、より難しい技に挑戦することを讃え合う精神があると言います。この大会で初めてオリンピックに採用された新種目が私たちに示したことは、スポーツとは何か？という本質的な問題だと思いました。

メダル争いをしながらもライバルにエールを送った選手たちの多くが10代でした。私たち大人が思っている以上に若い世代は自由闊達にスポーツを楽しんでいるようで、嬉しく思います。競い合う中で、互いをリスペクトし、フェアプレイの精神でスポーツを心から楽しめる、そんなアスリートがたくさん育ってくれることを願います。

外で気持ちよく過ごせる季節がもうしばらく続きそうです。子どもも大人も一緒になってスポーツの秋を楽しみたいものです。

11月行事予定

2	木	やってこ
3	金	文化の日
6	月	クラブ(後期開始)
10	金	研究発表会
14	火	検尿2次 避難訓練
15	水	検尿2次
16	木	社会見学 4年
18	土	人権参観(給食後下校) 火起こし体験 5年
20	月	委員会⑥ 学校公開
21	火	学校公開
22	水	乙訓小学校駅伝(給食後下校)
23	木	勤労感謝の日
24	金	振替休日
25	土	軽スポーツ大会(PTA)
27	月	クラブ 学校公開
28	火	社会見学 2年
29	水	わかばまつり 乙訓駅伝予備日 4・6年給食後下校
30	木	やってこ

- *10日(金)は本校の研究発表会のため、4年生・6年生以外は給食後下校となります。4年生・6年生は掃除ありの校時で5校時終了後下校となります。(保護者の参観はありません)
- *18日(土)の人権参観の振替休日は24日(金)となります。20日(月)は通常通り登校日となっております。
- *学校公開は、令和6年度入学予定者及び保護者の方へ向けておこないます。(今年度も予約が必要です)

11月20日(月)・21日(火)・27日(月)
9:00~12:00

12月行事予定

5	火	短縮授業 給食後下校
7	木	やってこ
14	木	個人懇① 給食後下校
15	金	個人懇② 給食後下校
18	月	個人懇③ 給食後下校
19	火	個人懇④ 給食後下校
20	水	給食終了 通常5校時授業
21	木	地区集会・一斉下校
22	金	終業式

- *個人懇談会の詳細につきましては、決まり次第手紙を配布いたします。
- *12月28日(木)~1月4日(木)は学校閉鎖日となっております。

11月下校時刻の変更

日付	学年	時間	理由
10日(金)	4年6年	14:40	研究発表会
	1235年	13:15	
18日(土)	全学年	13:15	人権参観
22日(水)	全学年	13:15	乙訓小学校駅伝
24日(金)	全学年		人権参観 振替休日
29日(水)	4・6年	13:15	研究発表会 振替



6年生の保護者様へ

<指定学校以外の中学校へ入学を希望される場合のご注意>

現在6年生のお子様について、来春、指定学校以外の中学校へ入学を希望される場合は、通学区域弾力化制度の利用申請が必要です。

現在の小学校に弾力化制度(希望校)を利用して入学されたお子様や、ごきょうだい(兄弟)が弾力化制度を利用して指定学校以外の中学校へ入学されている場合も同様に申請が必要になりますので、ご注意ください。

届出期間：令和5年11月20日(月)~令和5年12月1日(金)

向日市教育委員会学校教育課にて受け付けています。※申請期間外は受付ができませんのでご注意ください。



「全国学力・学習状況調査」(6年生)の結果報告

全国の6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査(国語・算数)の結果から、本校の特徴的な傾向をお知らせします。全体として国語、算数とも全国平均、京都府平均を上回る状況でした。

【国語】

国語では、全体的にどの領域でもよくできていました。内容としては、漢字の習熟や、資料を見て、書かれている内容として適切なものを選択する問題は大変よくできていましたが、目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる問題では苦手意識が見られました。

【算数】

算数では、全体的によくできていましたが、図形の領域に関しては図形の意味や性質を問われる問題で三角形について理解できているかや、高さが等しい三角形について、底辺や面積関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて述べる問題に課題が見られました。

両教科とも、自分の考えを記述することに課題がありますので、今後は日常の場面に対応させたり、言葉や図や式などを用いて説明したりできるように指導することを大切にするなど、指導の充実を図りたいと考えています。

【児童質問紙】

早起き、朝ご飯を食べるといった基本的な生活習慣は概ね身に付いています。ただ、早く寝るということに関してはあまりできていないと感じる児童が多く見られました。また、PCやタブレットを使った学習には肯定的な意見が多かったです。ただ、長時間にわたっての使用が課題として見られました。

以上が、調査からわかる6年生全体の様子です。今後もさらなる指導の工夫や改善に取り組んでいきます。

「学びのパスポート」(4・5・6年生)について

京都府内の児童一人一人の「認知能力」及び「非認知能力」の状況を把握することにより、児童には自分自身の強みや課題を知ることで学びを改善していくことを、教員には指導の在り方を工夫改善することを目的として、令和5年度から実施され始めました。

今年度は今回のみの結果となりますが、今後最大6年間の結果データの学力の伸びの状況や、学習の方法、非認知能力の傾向を基に、これまで以上に一人一人に最適な指導を行い、検証できるよう努めていきます。

学びのパスポートを通して目指す児童の姿

- ・自ら成長が見えることで、学ぶ意義を実感し、主体的に学習に取り組む児童
- ・自らの学習の特徴を知り、学び方を自己調整しながら学習に取り組む児童
- ・自らの変容を客観的に捉え、自ら「こうありたい」と目標設定できる児童

